「データ領域のリカバリ」を行ったのですが、「データ領域の選択」で会社が 分かれてしまいました。同じ会社に表示することはできますか?

(画面例は「PCA 会計 DX システム B」を使用しています。)

※以下の『PCA 会計』には『経理じまん』を含みます。

「データ領域のリカバリ」を実行した後、「データ領域の選択」で別の会社として表示された場合は、 「システムツール」の[会社構成の変更]を実行することで、同じ会社として表示することができます。 以下の操作手順を参考に実行してください。

「データ領域の選択」の画面例】 ■ データ領域の選択 会社(②): コード ^ヘ 会社名 0001 PCA商事株式会社	リカバリした後、「PCA 商事株式会社 2017/04/01〜 2018/03/31 第41 期」が、 別の会社として表示されているケースになり ます。
0001 PCA商争株式会社 処理期間(A): 会計期間 2017/04/01~2018/03/31 第41期 P20V01c001Acc0006 5.00 PC	-名 《領域別) ▲ 商事株式会社
《 選択(F	>) =5) キャンセル

【操作手順】

① 『PCA 会計』が起動している場合は、終了して、Windows の「スタート」-「PCA会計」- [シ ステムツール]を起動します。

※EasyNetwork 版、SQL 版、クラウド版の場合は、すべてのクライアントで『PCA 会計』を終了 してください。



② [ユーザーID] [パスワード] を入力し、「OK」をクリックします。



※OS 認証の場合、[ログ オン] 画面は表示されま せん。

③ [会社構成の変更] で [会社名による再構成] を選択し、実行してください。

📦 システムツール - PCA会計 D X システムB	– D X
共通 会社構成の変更	会社構成の変更 実行(B)
データ領域情報の再構築 領域の削除 システム履歴の確認 ログオンユーザーのクリア ブログラムロックの解除 データベースの保守 操作履歴の上限値 ログオン形式の変更 物理データバスの再設定 eD00サーバー名の変更 領域ユーザーの作成制限 未使用ユーザーの削除 環境情報の取得 クライアント環境情報の確認 ブログラムバージョンの管理 NGサービスライセンスの管理 NGサービスライセンスの管理 Olient-API有効化の確認 アドインの登録解除 領域ユーザー情報のコピー バターン設定のコピー	 ・ ・ ・
	コード 会社名 0001 PCA商事様式会社 0001 PCA商事様式会社 0001 PCA商事様式会社 0001 PCA商事様式会社 0001 PCA商事様式会社
	2012年9月前(4): 会計期間 決算期数 データベース バージョン 会社名(領域別)) 2017/04/01~2018/03/31 第41期 P20V01C001ACC0008 5.00 P C A商事株式会社
	変更後 ジステムツール - PCA会計 D X ジステムB ×
	(1) '会社構成の変更 は正常に完了しました。 (別しる(公)
	ОК

④ 会社ごとに領域が表示されることを確認し、[システムツール]を終了してください。

📦 システムツール - PCA会計 D X システムB	- 0	×
共通 会社構成の変更	会社構成の変更 実行(12)	J
データ領域の更新 データ領域情報の再構築 領域の削除 システム履歴の確認 ログオンユーザーのクリア プログラムロックの角際余	 	
データベースの保守 操作履歴の上版値 ログオン形式の変更 物理データバスの再設定 e000サーバー名の変更 領域ユーザーの作成制限 未使用ユーザーの削除	会社(2): ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
環境情報の取得 クライアント環境情報の確認 プログラムパージョンの管理 ライセンスの管理 製品サービスライセンスの管理	会計期間 決算期数 データベース パージョン 会社名(領域別) 2016/04/01~2017/08/31 第40期 P20V01C001AcC0004 5.00 P C A 商事株式会社 2016/04/01~2017/08/31 第40期 P20V01C001ACC0005 5.00 P C A 商事株式会社 2017/04/01~2018/03/31 第41期 P20V01C001ACC0006 5.00 P C A 商事株式会社	
Cl ient-API有効化の確認 アドインの登録解除 領域ユーザー情報のコピー パターン設定のコピー		

操作は以上になります。